

教科横断型授業「言語文化」×「音楽Ⅰ」 学習指導案

SDGsでの課題		SDGsの番号(4番) 質の高い教育をみんなに			
実社会での課題		様々な側面から芸術作品を味わうとともに、自らの表現に生かすこと。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力		強弱の変化や歌詞の内容などと曲想との関わりを理解するとともに、楽曲の良さを味わい、主体的に歌唱表現を創意工夫しようとする力。			
主題(教材)		混声三部合唱「RPG」			
指導過程	導入	1 本時の主題と目標を確認する。 2 楽曲を歌唱し、録音する。	5	○本時の目標を確認させ、真剣に授業に取り組むよう促す。	
	展開	1 歌詞を音読した際の強弱表現を生かし、楽曲に強弱記号をつける。	10	○活発に話し合いができるように促す。 ○強弱記号の意味を理解させる。 ○なぜそのようなようにしたのかを説明させる。	○ワークシート ○プロジェクト ○楽譜
		2 実際に楽曲についている強弱記号を確認し、歌詞と照らし合わせ、なぜそのような強弱変化がついているのかを考える。	10	○生徒が考えたものと楽曲の指定が異なっていた場合も、表現方法には多くの種類があることを説明し、理解させる。	
	開	3 強弱変化を意識し、歌唱する。	5	○聞き手に強弱変化が伝わるような歌い方を意識させる。	
		4 はじめに録音したものと比較聴取し、感じたことや今後の改善点を記入する。	10	○強弱変化が曲想に与える効果を実感させる。	○スピーカー
	整理	本時の学習内容を振り返り、今後の課題を確認する。	5	○今回の学習内容を、今後どのように生かしていくかを確認させる。	
備考					